

【研究ノート】

変化する日本語「えげつない」の今を捉える

佐久間 淳 子

はじめに

言葉の意味は、時代とともに変わっていくことがある。意味が逆転することもある。

記憶に新しいのは「やばい」だろう。

朝日新聞が「「やばい」はすごくよいだって？ 今どき言葉の不思議」と紹介したのは2004年8月13日である。この頃にはある程度、無視できないほどになっていたのだろう。

はたして、日本語の辞書には翌々年から「やばい」の新しい意味への言及がみられるようになる。

「大辞林 第三版」(2006 三省堂)、「三省堂国語辞典 第六版」(2008 三省堂)「岩波国語辞典 第七版」(2009 岩波書店)、「明鏡国語辞典 第二版」(2010 大修館書店)などがそのさきがけだ。

「デジタル大辞泉」¹⁾(小学館)が、「あなたの言葉を辞書に載せよう。2015」キャンペーンで「やばい」の新たな語釈を採用した。現在は、「危険や不都合な状況が予測されるさま。あぶない。」の後に「補説：若者の間では、「最高である」「すごくいい」の意にも使われる。」と、記し、語釈の優秀作9本が掲載されている。^{2) 3)}

本稿では、「えげつない」が「やばい」と同様の意味の逆転を起こしつつある状況を記録しておくことを考えている。

●いまどき「えげつない」との遭遇

筆者が奇妙な「えげつない」に出会ったのは、2018年8月23日である。これは、第100回全国高校野球選手権大会が終わった翌々日のことだ。

ソーシャルネットワークのfacebookを眺めていたら、「金足農ブラバンに「えげつないトランペットがいる」」という一文が目にとまった。産経新聞のWebニュースサイトIZA(イザ)の記事⁴⁾を紹介するものだった。

「金足農ブラバンに「えげつないトランペットがいる」プロ並み…応援部隊の正体は」

2018.8.22 13:45

この決勝戦(8月21日)では、大阪桐蔭高校と秋田県立金足農業高等学校が対戦し、前者が勝ち、後者が負けた。

名の通った私立の強豪校に、公立の、無名の農業高校が挑む構図になり、筆者のような野球に関心の無い、観戦の趣味もなければテレビを見る習慣も無い者も、少しはなりゆきに興味を抱く状況だった。もちろん、「これで金足農高が勝ったら小気味良いなあ」と、後者への親近感を抱きながら、である。勝ちそうもなかったけれども、そこが肩を持ちたくなるポイントでもある。

そんな視点でこの見出しを見ると、「えげつない」が大阪弁で非常に良くないことを指すと理解しているだけなので、なにを「良くない」と言っているのか理解できなかった。本文を読めば、試合開始早々にネット上で「金足農の応援席のブラスバンドのなかに、大変に演奏技術に長けたトランペット奏者が混じっている」との投稿が相次いだことを紹介している。しかし、筆者は「えげつないは悪い意味」という先入観しかないから、この記事は、金足農高のなにかを「良くない」と言っているようだ。敗者の応援に否定的な言葉を取り付ける意図がわからなかった。応援していた

わけでもないのに、いささかおもしろくない。

とはいえ、「やばい」の前例もある。「えげつない」でも意味の逆転が起きているのだろうか？という疑問は抱いた。

そこで、自分のfacebookに、友達範囲に限定して、

「「えげつない」って悪い意味ですよ。それとも、「やばい」的な意味の逆転があるのか？

そのどこが「えげつない」んだ？>産経新聞

いまどきの全国的認識で「えげつない」ってどういうニュアンスでしょう？」

と投稿した。

Facebookでいう「友達」は、ある程度関心事など共通項の多い人たちに収束している。私の問いかけに返信を書いてくれたのは、年齢層としては40代から60代に限られるが、いくつか紹介しよう。

「えげつないトランペット」に対する感想

※ () 内の地名は在住地、生まれの順

・TH氏 (男性、60代、大阪)

強烈な嫌悪を感じた時、「えぐい」「えげつない」って言うわ。ええ意味なんかないで。どこぞのあほがツイートしたのを、どこぞのアホ新聞社が目立とう思て、つこたんちゃいまっか？

「ごっついトランペットやったわ」やったら、わかるけどな。使い方、まちごうてるわ。言うたん、大阪の人間ちゃうんちゃうん？

・NT氏 (男性、40代、神奈川、東京)

流行りに乗って「半端ないトランペット」なら印象が変わったかも。えげつないって否定的なイメージが強いですよ。

・OI氏 (男性、50代、大阪、東京)

最近若い子達は「ヤバイ」の意味もあるみたいですね。私が大阪在住の頃も悪い子たちはディスコキングに「エゲツないステップ踊り

よるなあ。ついてけへんわあ」とかやってたな。

一般には「子どもたちの晴れ舞台にプロ連れて来るなんてえげつない事するなあ」とか使いますね。

・FS氏 (女性、40代、大阪、兵庫)

「えげつない」のあとに「プロ並み 応援団の正体は」と続いているので、「えげつない」がわからないにしても、内容はだいたいわかるとおもわれ。

「えげつないトランペット」は個人のツイートの引用で記者の言葉ではなく、この記事自体このまとめから派生したものだとおもわれます。https://togetter.com/li/1258843

TH氏は「えげつない」の意味が変化している可能性をまったく考えていない。誤った使い方と認識している。

NT氏は、可能性があるにしても、一般的でないこと（見出しには不適切）と認識している。

OI氏は、嫉妬を表す「えげつない」が存在することを紹介し、賞賛の裏返しとしての用法がすでにあることを指摘している。

FS氏は、文脈から「すごい」の意味であると読み取り、さらにネット検索して「えげつないトランペットがいる」というTweetがあったことを突き止めた。そして産経新聞はそのTweetを見出しに拾ったと推測した。

FS氏はまた、筆者が「「えげつない」は大阪の言葉、大阪桐蔭の対戦相手の応援に対して「えげつない」を使うのは、大阪桐蔭の肩を産経新聞社が持った、という意味か？」と示した仮説に対して、「大阪人がみんな大阪桐蔭を応援しているわけではない。新聞社が一Tweetを拾ったにすぎない」と否定した。

著名人のものでもないTweetを見出しにする、ということ自体に筆者は驚いたが、

FS氏がリンクを示したTogetter⁵⁾「金足農の

つ頃からかはわからないが、もう「新解さん」に載っているのではないかな？ 音楽にも用いるが、もっといろいろな場面で使う。「やばい」よりも上、「やばい」よりも新しい表現。意味の反転としては「クソ美味い」もある。「えげつないトランペット」は、そこまで上手く吹けるようになるまでの練習の積み重ねが過酷だったことを「えげつない」と認識しているのではないかな？

もう少し年齢が上の世代に手当たり次第に問うたところ、40代以上だと、「え？」と驚く人が多い。例外は、少年野球の監督をつとめているなど、日頃から試合中継にも関心を持つ人だ。30代半ばでは、「そういう使い方がある」ことはなんとなく認識されているような印象を得た。

少なくとも昭和60年代以降生まれであれば、意味の反転を認識しているようだ。

では、いつ頃からそれが始まったのだろう。

秋学期が始まったら学生たちに尋ねることにして、新聞記事をデータベース検索して、手がかりを探すことにした。

「10年」より少し前に兆候が現れているかも知れない。検索期間は1990年以降とした。

1998年11月13日に始まった毎日新聞大阪版の常設コラム「けったいでんな」は、「けったい」の説明として、

「妙、変てこ、おかしい、不思議などのさまざまな意味を含んだ言葉で、「えげつない」とともに大阪弁の両横綱。この欄では褒め言葉として使う。」

と、注釈を付けている。2001年1月21日にコラムが終了となるまで注釈の掲載は続いたようだ。当時は、断り書きが必須だったと思われる。

ただし、野球の記事では、選手を「ものすごい」と褒める意味で90年代後半には「えげつな

い」が用いられている。たとえば1997年10月4日（朝日新聞）に、球場の芝生整備担当者がPL学園当時の清原和博選手の有名な本塁打を振り返って「左中間スタンドのはるか上を越え、「えげつない子やな」と思いました。」と語っている。

1998年5月19日には、高校生時代の江夏豊をライバル校の元監督が振り返って、「ドーンと胸元にえげつない球が来る。えらい選手が大阪に来たもんやと思いましたがね」と表現している。この2本は回顧なので、エピソードの当時に「えげつない」と表現していたのか、回顧した記事掲載当時の表現として表れたのかが、判然とはしない。

その後、2000年ごろから、「すごい」という意味の「えげつない」が散見されるようになる。

2000年10月24日（産経新聞）日本シリーズ関連：読売ジャイアンツの村田真選手「（城島が刺激になっているかとの質問に）「刺激になくなるかい。向こうはえげつないよ。上原？ よかったよ。直球もフォークもシーズンのいいときぐらい」

2001年2月11日（東京/中日新聞）「高田コーチを震え上がらせた、えげつない内角攻めもそのひとつ。」

同じ東京/中日新聞は、2007年6月17日に全米オープン（ゴルフ）の記事で「「グリーン周りも、えげつない」と漏らした。それほど対処が困難ということだ。」と、言葉を補って掲載している。

2007年12月12日（毎日新聞）ではアメリカンフットボールの記事で「監督は「日大は個人のデカさ、スピード、パワーともにえげつない。（攻撃が）止まる気がしない」と書いている。

2010年1月9日のスポーツニッポンでは、ラグビーの全国大学選手権で「（突破などが）えげつないほど強い」と出た。

2017年11月10日の河北新報では、女子サッカーの監督が「速さは『えげつない』という表現がぴったり。」と語っている。

2018年4月3日のサンケイスポーツでは、「南

米の選手の球際の攻防はえげつない。あれくらいの激しさが必要。」と、見習うべき表現として登場する。

このように、野球、ラグビー、アメリカンフットボール、サッカーでは、「えげつない」は相手の手強さを表現するときに用い、監督やかつてのライバルは、優秀さを回顧して讃えるために用いている。

もっぱら談話の一部として「 」内に表われ、地の文には用いられていない。

音楽については、新聞記事データベースの範囲では見当たらなかったが、ネット検索すると、音の素晴らしさ、奏法の卓越を表すとき、あるいは、夜も昼もない練習を続けるさまを表現するときに用いられている。

芸能に関しては、従来の意味を越えた表現はみあたらなかった。

さて、いま、無意識に「従来」と書いてしまったが、筆者は福島県生まれ東京在住であり、「えげつない」が耳や目にはいつてくることはあっても、自分で使おうと思ったことがない。

JapanKnowrageではデジタル大辞泉と、日本国語大辞典、日本方言大辞典が利用できる。まずはここから確認する。これだけ動きが出ていると、印刷版には掲載されていなくとも、なにかわかるかもしれない。

デジタル大辞泉：ものの言い方ややり方が露骨・無遠慮で節度を超えているさま。ずうずうしく、いやらしい。あくどい。もと関西方言。

日本国語大辞典：人に度を過ぎして迷惑、不快の感じを与えるさま。特に、言い方や、やり方が露骨でいやらしい。ずうずうしく無遠慮である。思いやりがなく残酷である。

日本方言大辞典

(1) 気の毒だ。哀れむべきだ。かわいそうだ。(鳥取県、島根県)

(2) やり方や言い方が露骨で、見るや聞くに

堪えない。残酷だ。無慈悲だ。しんらつだ。いやらしい(大阪以外に山形県西置賜郡新潟県中頸城郡、福井県大飯郡、長野県佐久など)

(3) 性格が意地汚い。あさましい。ずうずうしい。貪欲だ。(長野県佐久、京都市、大阪府泉北郡、香川県高松市、長崎県対馬)

(4) 濃厚だ。執拗(しつよう)だ。しつこい(大阪)

(5) 困りきる状態だ(岐阜県飛騨)

(6) 頼りない(高知県)

地方によって少しずつ違っているようだが、ここではこれ以上の深掘りはせずにおく。⁸⁾

(1) については、(2) のようなことをされた人に対して覚える感情、という印象がある。

(2) については、漫才や芝居を通して筆者がイメージしている「えげつない」に近い。悪徳高利貸しの情け容赦ない取り立てや詐欺のような巻き上げ方や、「人道的にどうか?」という行為を想像する。(4) の用例で「こんなえげつないもん食はれへん」が挙げられているが、不味いのではなくてくどい、味付けや油っこいことを言っているように読める。(3) の「貪欲だ」や(4) の「執拗だ」になると、筆者は(2)の延長で捉えられると思うが、スポーツの世界では必要な精神力と言えるような気がする。この部分は、大阪ネイティブでないと、認識されていないように思う。少なくとも私は、方言辞典を引いて初めて「なるほど」と思った。

●なぜあのトランペッターはえげつないのか

新聞記事に現れた表現を見る限りでは、結果としてライバルを褒めることになる言い回しとして「えげつない」が用いられている。

では、なぜ金足農の応援プラスバンドに助っ人で加わったトランペッターはえげつないのか。

【コラム】

立教大学付属図書館に所蔵されている印刷製本された書籍より、方言としての「えげつない」(抜き出して筆者が整理をした)

・「新版大阪ことば事典」(2004 牧村史陽 講談社)(1956年刊 杉本書房 大阪方言事典の改訂版と思われる)

エゲツナイ(形容詞)

濃厚な・辛辣な・酷烈、不快な場合などに用いる形容詞。

エグイから出た語だろうという説もあるが、一方には、イゲチナイという語もあり、イカツイ(厳つい)の転じたものかと考えられる。

例

あいつ、エゲツナイやっちゃ

(この言葉の内容はかなり多角的であって、シブチンの物汚い人間、高利をむさぼる貪欲なおやじ、年増の女の厚化粧も、助平爺もみなこの中に含まれる)。

ナイは、「無い」ではなく、甚だしいの意。

こんなエゲツナイもん食われへん

そんなエゲツナイこと、人前で言うもんやないぞないにエゲツノォ言わんかてええやないか

このようにさまざまな意味を持っていて、ちょっと標準語には訳すことのできぬ大阪独特のエゲツナイ言葉だといってよい。

えぐい のどを刺激するいがらい味をえぐいということから転じて、ひどい・むごい・辛辣なというような意に用いる。また、形容詞化してエグタラシイともいう。

「全国方言辞典」(1951 東條操編 東京堂出版)

いげちない→えげつない。

①なさけない。大坂播磨辺(物類称呼)

②いじらしい。かはいさう。丹波・福井県大飯郡・京都・大分県南海部郡

③じつこい。執拗な。山口県豊浦郡

④かはいらしい。上野(物類称呼)

いげつない

①ひどい。むごい。かはいさうな。福井県嶺南地方・大坂・淡路島・鳥取・山口県・大分

②食物にいやしい。対馬

「日本語方言辞書(上) 昭和・平成の生活語」(1996 藤原与一 東京堂出版)

エゲツナイ

やりすぎ言いすぎなどに思えて賛成しかねる気持ち(――いやらしいと思う心を)あらわすもの

近畿地方のものか。関西下にあっても中国や四国ではこれの通用がまずは認められない。

神戸市域

エゲツナイコトユウイナ

京言葉

そんなにエゲツノーいわんでもええやんか

<忌憚なく>言わなくてもいいじゃないの 兵庫県但馬西南部 エゲツナエー 根性のきたないばあいに言う。ひどいことを言う。むざんなことも。

エグイ

きたない

大阪府池田市 ナンセアイツワエグイヤツヤテ。

なんたって、あいつはきたないやつだて。

きつく毒々しい。

そんなエグイことを言うてやっただかい。

エグイー

酷い 熊本県「肥後南ノ関方言類集 用語篇」

「京ことば辞典」(1992 井ノ口有一 堀井
令以知編 東京堂出版)

エゲツナイ

あくどい。ひどい。強烈な。手厳しい。辛辣さ
をこめていう。

エゲツナイ税金ヤー

ちょっとカドに荷物置いたら言うて、ソナエゲ
ツナイことユワハランカテ、ヨロシオスのに
ナー。

うわあ、センス、エゲツナイナー」(抜き打ち
テストのとき)

エゲツナイ色ヤナ、その服

あの人エゲツナイ(露骨な)ことばっかりユワ
ハルエ。

イゲツナイにもとづくか。

近畿、福井県大飯郡、鳥取、出雲も。

「京都府方言辞典」(2002 中井幸比古 和
泉書院)

あくどい、性悪だ、いやらしい、かわいそう

「関西ことば辞典」(2018 増井金典 ミネ
ルヴァ書房)

えげつない

無慈悲で冷酷なこと

強欲な

意にも

「京都府ことば辞典」(2006 堀井令以知編
おうふう)

あくどい 酷い 非常に不愉快な 京都、伊根、
舞鶴、福知山、綾部、瑞穂、京北、山科、醍醐、
宇治、城陽、木津、南山城村

困りきる状態だ 岐阜県飛騨

頼りない

知人のトランペット演奏をたしなむMJ氏(ア
マチュア。60歳、福島県、東京)は、おおよそ
次のような説明をしてくれた。

「ハイトーン(ハイノート)と呼ばれる高音を
出す奏法は、高校生くらいの熟練度では、そう
長々と高音を出し続けられるものではない。高校
生が精一杯演奏するけなげさを念頭に置いて聞くと、
いつまでもブイブイ鳴らす彼らは「上手すぎ
てずるい」「ずば抜けて上手い奏者が混じってい
る“違和感”」が出る、それを「えげつない」と
表現するとしたら、それはありだと思う。」

筆者と同世代で、しかも大阪ではない地域で生
まれ育った知人にとっても「えげつない」という
表現で腑に落ちると聞いて、いささか驚いた。

金足農の応援ブラスバンドは、準決勝までは自
校の吹奏楽部25名に、兵庫県立有馬高等学校の
吹奏楽部約50名の加勢を得て試合を支えてきた。
経験を積んだ強豪校の吹奏楽部に比べたら消耗が
激しかったかもしれない。そこに加勢してきた、
彼らよりも演奏に慣れた(しかも、仕事疲れは背
負っていても、吹き疲れているわけではない)大人
たちは、思いがけない助っ人だっただろう。

なお、この演奏風景を動画投稿サイトで探して
再生してみるのだが、肝心の音の周波数帯が高すぎ
て、筆者の耳では聞こえないようである。⁹⁾

●えげつないよりもえげつない、「えぐい」

驚いたといえば、現役学生たちの反応には世代
の差をまざまざと感じさせられた。

秋学期が始まり、担当する2つの講座で、学生
たちに「えげつない」の使い方を尋ねてみた。口
頭でのやりとりをした上で、使うか、知っている
か、いつ頃からかなどの問いを記した回答用紙に
書いてもらうようにした。

一方の授業では、14名中1名(女子)だけが
「知らなかった」と答えた一方で、他の13名は、
「知っている」としただけでなく、「えぐい」のほう
をよく使うという回答も出てきた。たとえばテ

ニスでボールを打ったときに上手くいったら（相手が打ち返せないような球だった場合）、「今の球エグくね？」と仲間に評価を求める、というのである。

また、いつ頃から聞いたり使ったりしているかと尋ねると「高校生の頃から（高校生になってから）」という答えが大半だった。2年生で20歳前後の彼らにとってそれは、「5年ほど前（2013年以降）」ということになる。

ここで登場した「えぐい」は、「えげつないトランペット」というTweetを収集した柴犬 (@egmvd) 氏が付けたタイトルにだけ現れているが、学生たちはこちらのほうにより馴染んでいて、と回答している。

さらには、「とても美味しい」というときに「エグい！美味しい！」とも使うらしい。これは現役女子高校生も使っていて、「えぐ！」と短縮系で使うらしい。一方、男子（3年生）はその用法をやや冷ややかに教えてくれたので、男子はあまり使わないのかもしれない。

いずれにしろ、小さい子どもが嫌う「えぐみ」をどうやって除いて食べやすくするか、そんな試行錯誤を多少なりとも経験した身からすると、成長した子どもたちが「えぐい！美味しい」と口に出して嬉々として食べている様子を想像して、なんともいえない気持ちになった。

●「えげつねえ」はかっこいい

もう一つ、受講生の一人（3年生、男子）からこんな仮説を提示された。

人気マンガ「HUNTER×HUNTER」（富樫義博）第16巻（初版2003刊 ジャンプコミックス集英社¹⁰⁾）で、主要な登場人物のゴレイヌが「えげつねえな…」とつぶやく一コマがあり、ここがたいそう人気があるのだという。口数は少ないが、自分たちが非常に厄介な状況にあることにいち早く気づいてこの言葉を吐く。みなそれぞれに気づくのはずっと後になってから、という展開に、

読者はハマるらしい。彼らの世代にとっては「えげつない」という言葉とほとんど接しないままにこの単行本を手にとり、このカ所で初めて「えげつない」という言葉に出会い、「こんな名台詞を吐いてみたい」と思うくらいには記憶に刻みつけられるらしい。（あらすじは省略する）

そのためか、ネット上で「ゴレイヌ」AND「えげつねえ」を検索すると、いくつもの熱いファンのページがヒットする。

一方、同学年の別の受講生（男子）は「（そのシーンが）あったなあ、って思い出しました。でも、そんなきっかけになったかなあ」というから、一般的な認識ではないかもしれないが、「えげつない」に出会う機会の一つとしては共有されているのかもしれない。

●韓国の事例「猟奇的な」

このように調査を進めるうちに、韓国映画「猟奇的な彼女」（2001）を思い出した。日本で「猟奇的」ときたら「殺人」しか思い当たらない。そんな物騒な言葉を、恋愛物語の愛おしい彼女の形容に持ってきたのだ。韓国でも「やばい」意味からの逆転が起きているのだろうか。

ちょうど、担当する講座に韓国からの留学生がいるとわかり、彼女に聞いてみた。すると、「韓国ではほとんど使いません。良くない意味しかありません。意外な言葉を使って注目させようとしただけだと思います」と返ってきた。

よくよく考えれば、この映画は彼女が物心つく前に大ヒットした映画である。そして、2017年には同名で時代を数百年過去に移して時代物としてリメイク版が制作されてもいる。にもかかわらず、いまだ「猟奇的な」は韓国では「えげつない」ほどの新たな意味での使用が広がっているわけではないのは、興味深い。

●いまのはどっちだ？（まとめに代えて）

以上のように、「えげつない」はいまのところ「デジタル大辞泉」に採用されていないものの、ある程度若い世代に定着しつつあるようには感じられた。「やばい」のようにいずれデジタル辞書に収録されるかもしれない。

いずれにしろ、新しい世代が新しい日本語を操るようになるのは自然なことだろう。自分が覚えた日本語が「スタンダード」とは限らない。

「やばい！」と聞こえてきたときに一瞬「どっちだ？」と思うように、「えげつない」「えぐい」も、心して「どっちだ？」といったん考えなければならぬことになっているのは、間違いない。そんなシーン（言葉の意味）は、これからも増えていくだろう。スタンダードな日本語を操りつつ、新しい用法の誕生にも関心を持って置こうと思う。

注

- 1) 立教大学では、JapanKnowrageの一部としてデジタル大辞泉が利用できる。
- 2) 2018年12月1日調べ。
- 3) 「デジタル大辞泉」では、「あなたの言葉を辞書に載せよう。」と題して、語釈を募集するキャンペーンを2013年から実施しており、優秀作をデジタル大辞泉に掲載している。「ヤバい」の新しい語釈は <https://kotoba.daijisen.jp/2015/goshaku/>
- 4) 金足農ブラバンに「えげつないトランペットがいる」プロ並み…応援部隊の正体は」2018.8.22 13:45（最終更新） <https://www.iza.ne.jp/kiji/sports/news/180822/spo18082213450078-n1.html> iza（イザ！）は産経デジタルが運営する総合

ニュースサイト。

この記事は、立教大学が契約する産経新聞データベースでは、検出できない。

実際には、秋田ブリティッシュプラスバンドの有志以外にも楽器を抱えて駆けつけた人たちはいたようだ。

- 5) Together は、Twitter上の任意の投稿を抜き出し、集めて若干の文字装飾を施し、タイトルを付けて公開するサービスサイト。
- 6) <https://together.com/li/1258843> 更新時刻からすると、中継を見ながらTweetの収集を進めていたようだ。
- 7) ABBB（秋田ブリティッシュプラスバンド）は、秋田で活動するアマチュアのプラスバンド。Blogでは、2015年に秋田県吹奏楽連盟に加盟するとし、2019年2月23日には第4回定期演奏会を予定している。 <https://ameblo.jp/akita-bbb/entry-11973469861.html>
<https://www.facebook.com/%E7%A7%8B%E7%94%B0%E3%83%96%E3%83%AA%E3%83%86%E3%82%A3%E3%83%83%E3%82%B7%E3%83%A5%E3%83%96%E3%83%A9%E3%82%B9%E3%83%90%E3%83%B3%E3%83%89-667323370018672/>
- 8) 立教大学付属図書館には、地方別の方言をまとめた辞典なども多数所蔵されている。時代ごと地域ごとの変化を詳細に追うこともできる。
- 9) たとえば「金足農業のやばいトランペットをききそびれたあなたのために載せておきます」 <https://twitter.com/npynpynpy7/status/1031805179010543616/video/1>
- 10) 少年ジャンプのサイト：「HUNTER×HUNTER」は、現在36巻まで刊行されている。 <https://www.shonenjump.com/j/comics/kami.html>